

第5章 都市基盤・生活分野

第1章 保健・医療・福祉分野	第1節 市民の健康づくりの推進	P46
	第2節 地域福祉の充実	P48
	第3節 高齢者福祉の充実	P50
	第4節 障がい者福祉の充実	P52
	第5節 社会保障の充実	P54
第2章 子育て・教育・文化分野	第1節 結婚・出産・子育て支援の充実	P58
	第2節 学校教育の充実	P60
	第3節 生涯学習の推進	P64
	第4節 青少年の健全育成	P66
	第5節 スポーツ活動の推進	P68
	第6節 文化・芸術活動の推進	P70
	第7節 国際交流の推進	P72
第3章 防災・防犯分野	第1節 消防・防災対策の充実	P76
	第2節 交通安全・防犯の充実	P80
	第3節 消費者対策の充実	P82
第4章 産業・観光・雇用分野	第1節 農林水産業の振興	P86
	第2節 商工業の振興	P90
	第3節 観光の振興	P92
第5章 都市基盤・生活分野	第1節 道路・交通網の充実	P96
	第2節 住環境の整備	P100
	第3節 公園・緑地の整備	P102
	第4節 上・下水道の整備	P104
	第5節 情報化社会の構築	P106
第6章 自然・環境保全分野	第1節 自然環境の保全	P110
	第2節 再生可能エネルギーの利用	P112
	第3節 循環型社会の形成	P114
第7章 参画・協働・行財政分野	第1節 参画・協働の推進	P118
	第2節 地域コミュニティの育成	P120
	第3節 人権尊重・男女共同参画・平和行政の推進	P122
	第4節 行政経営の推進	P126



第1節 道路・交通網の充実

- 方向24 利便性の高い生活基盤（道路網）の整備を進める
方向72 公共交通の充実を図り、生活の安心を確保する
方向89 災害に強い交通施設を整備する

快適
安心
安心



第2節 住環境の整備

- 方向25 バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を推進する
方向26 定住希望者へ適切な住環境を提供する
方向27 快適な住環境をつくる
方向90 耐震改修、長寿命化計画を進めストック比率を高める
方向91 安心な住環境をつくる

快適
快適
快適
安心
安心



第3節 公園・緑地の整備

- 方向28 新たな公園を整備する
方向92 公園緑地の防災機能を充実させる
方向93 既存の公園緑地を適切に管理する

快適
安心
安心



第4節 上・下水道の整備

- 方向29 水質管理を充実・向上させる
方向94 漏水事故等を減少させる
方向96 水道事業の効率化など経営を見直す
方向97 污水処理施設を普及し、安定稼働と安定経営を行う

快適
安心
安心
安心



第5節 情報化社会の構築

- 方向30 ICTの利活用による地域情報化を推進する

快適





第1節 道路・交通網の充実

現状と課題

道路整備については、通学路安全強化や橋梁等長寿命化をはじめ現道拡幅などを中心に進めていますが、社会経済状況が変化してきており、少子高齢化、防災対策、新たな広域都市圏の確立など交通行政課題が増してきています。そのため、現状の把握及び新たな基本計画として、主要インフラの早期整備、改良等の促進、河川・港湾・急傾斜崩壊対策、砂防等の災害防除の促進、中海架橋、スマートインターチェンジ、高速道路パーキングエリア、高速バスストップなどの整備といった交通施策の基礎となる「安来市総合都市交通体系調査」の実施が課題となっています。

特に、安来木次線切川バイパス並びに（仮称）飯島切川線の整備は将来市街地ゾーンを貫き国道9号と接続する交通道路ネットワークの構築により、地域中心拠点の連携はもとより、産業・物流・観光・交通安全に大きな効果が期待され、早期実現が求められます。

広域生活バス（イエローバス）は、地域住民の移動の手段として重要な公共交通です。しかし、道路幅員の狭い箇所も存在し、バスの乗り入れが困難な地域の存在があります。住民が安心して住み続けられる公共交通を目指し、交通体系の再構築や新たな移動手段の運行などが求められています。

また、近年交通移動手段に関する選択の変化とともに、自家用車に依存した生活スタイルの増加や人口減少等によりバス利用者が減少の傾向にあることから公共交通の利用の促進が課題となっています。

取り組みの方向と主な施策

方向
24

利便性の高い生活基盤（道路網）の整備を進める

快適

- 広域連携及び市内拠点間連携に資する交通道路ネットワークを形成します。
- 安来木次線切川バイパス・（仮称）飯島切川線整備の早期実現に努めます。
- 中海架橋（仮称）の建設促進を図ります。
- 高速道路の利便性向上（高速バスストップ・高速道路パーキングエリア・スマートインターチェンジの整備、無料化）を図ります。
- 交通環境を改善します。
- 安来市都市交通基本計画の策定に向けた取り組みを進め、現状と将来像を踏まえ、災害時の輸送路、公共交通形態も見据えた市の幹線道路網計画（道路マスターplan）を作成し、それに基づく道路事業を推進します。
- 道路維持管理、交通安全の充実を図ります。

方向
72

公共交通の充実を図り、生活の安心を確保する

安心



- 広域生活バスを含めた市内交通について、市民ニーズや地域の実情により見直しを行い、利便性の向上と交通空白地域の解消を図ります。
- モビリティ・マネジメント¹⁰による新たな利用者の開拓を図ります。
- 住民参画による交通体系の整備を図ります。

方向
89

災害に強い交通施設を整備する

安心



- 防災性の高い交通施設整備を推進します。
- 橋梁等施設長寿命化計画により、道路施設点検、修繕対策を講じます。また、施設災害を未然に防ぐよう災害防除対策を推進します。

目標指標

☆印…総合計画アンケート

指標の名称	単位	現状値	方 向	めざそう値
☆住んでいる地域は買い物や通院に便利だと思う人の割合	%	36.2	H26	↗↗ H31
広域生活バスの乗車人数年間累計数（5年間の平均）	万人	36	H26	→ 36 H31
道路改良延長（5年間の累計）	Km	—	H26	↗ 13 H31



広域生活バス

用語解説

¹⁰モビリティ・マネジメント

過度に自動車に頼る状態から公共交通機関などを「かしこく」使う方向へと自発的に転換していくことを促すこと。

主な事業

- 全国都市交通特性調査の実施（国土交通省）H27年度・H32年度
- 街路交通調査の実施（安来市）H32年度予定
- 都市交通基本計画の作成（安来市）H33年度
- 社会資本整備総合交付金事業、防災・安全社会資本整備交付金事業
- 公共施設災害復旧事業
- 維持管理事業
- 災害防除工事
- 道路台帳整備
- 下水路整備事業
- 道路橋梁長寿命化事業
- 除雪車更新事業・新規購入事業
- バス停整備事業
- バス更新事業
- 高速バスストップ事業
- 主要地方道安来木次線切川バイパス整備、(仮称)県道飯島切川線整備、県道安来インター線整備
- 生活交通ネットワーク再編事業
- 広域生活バス運行事業
- 市道改良事業（未明政線、中谷1号線、木戸川東線、安来港飯島線、本町御笠線
杉谷線、山根1号線、中島津田平線、黒鳥細井線、飯生切川線、川尻3号線
下ノ原2号線、才下10号線）

分野別計画

- 安来市都市計画マスタープラン
- 安来市総合都市交通体系調査
- 安来市地域公共交通連携計画



本市のみならず中海・宍道湖・大山圏域の発展に資する中海架橋の建設や高速道路の利便性向上（パーキングエリア・スマートインターチェンジ・高速バスストップの整備、無料化）を関係機関に働きかけ早期実現を目指します。

市内交通については、市民ニーズや地域の実情により見直しを行い、利便性の向上と交通空白地域の解消を図ります。

ちょんぽし情報⑧

市の花・木・鳥・魚 (平成19年11月3日制定)

種類	名称	説明	イメージ
花	さくら	<p>安来市には、「社日公園」「十神山」「太鼓の壇」「上の台」など、桜の名所が多数ある。</p> <p>市内のいたるところで目にすることができる、桜の花の優しい色合いは、市民を和ませてくれる。</p> <p>安来節の歌詞にある「社日桜」は、現在、社日公園の桜を総称しているが、実際は、明治時代まで栄華を誇ったと言われる桜の老木の名称であったと言われている。</p>	
木	竹	<p>「島田たけのこ」「竹炭」など、竹に関連した特産物が多数あり、市民の生活に身近なものである。「島田たけのこ」の歴史を紐解くと、文化年間（1820年頃）に島田地区で孟宗竹を移植したのが始まりと言われている。</p> <p>また、比婆山に群落する「陰陽竹」は県の天然記念物に指定されている。</p>	
	もみじ	<p>紅葉の時期には、もみじは市内の各所で紅く染まり、市民の目を楽しませてくれる。なかでも「清水寺」では、もみじをはじめとした木々が三重の塔を包み込むように彩り、秋の趣を感じさせる。</p>	
		※平成27年4月1日付追加選定	
鳥	白鳥	昭和50年代に入ってから、本格的に能義平野へ飛来するようになった。冬の風物詩となり、能義平野を縦貫する広域農道にも「白鳥」の名称が使われているなど、市民に親しみのある鳥である。冬の訪れを告げる11月ごろに飛来し、翌年の3月ごろまで、その姿を市民に楽しませてくれる。	
魚	どじょう	<p>「安来節」のどじょうすくい踊りに代表されるように、どじょうは昔から市民に親しみのある魚である。</p> <p>愛嬌のある風貌だけでなく、食せば栄養価も非常に高く、昔から「うなぎ一匹、どじょう一匹」（カルシウムはうなぎの約9倍、ビタミンB2はうなぎの約2倍）と言われるほどである。</p>	



第2節 住環境の整備

現状と課題

耐震診断及び耐震改修に要する費用が住民負担となっていることから木造住宅の耐震化率が低く、また、耐震診断及び耐震改修助成制度の利用者が少ない状況にあります。

既存の公営住宅等においては、高齢者や障がい者等入居者の多様なニーズに対応できていない施設があり、施設の利用目的に対応した整備計画を整理し、計画的に整備を進めていく必要性があります。また、既存の老朽化（耐用年数を経過した住居）した公営住宅等の今後のあり方については、長寿命化計画の中で検討を進める必要があります。

人口減少に伴い空き家が増加しています。空き家等対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、空き家等の実態把握、空き家相談などへの対応が求められています。

空き家等を活用しながら、移住・定住希望者の住まいを確保するとともに、住宅の各種支援制度により住環境を向上させ、市民の定住意識を高める必要があります。

取り組みの方向と主な施策

方向
25

バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を推進する

快適



- 手摺りやスロープの設置及び段差解消を推進します。

方向
26

定住希望者へ適切な住環境を提供する

快適



- 多様な居住ニーズが実現される住宅市場の環境整備を図ります。

方向
27

快適な住環境をつくる

快適



- 住環境の改善（省エネルギー、耐久性）に努めます。

方向
90

耐震改修、長寿命化計画を進めストック比率を高める

安心



- 第2次安来市公営住宅等長寿命化計画を推進します。
- 住宅の適正な維持管理を行います。

方向
91

安心な住環境をつくる

安心

- 安全安心で豊かな住生活を支える生活環境を構築します。
- 住宅の各種支援制度を充実（耐震診断及び耐震改修助成）します。
- 特別な事情を有する者に対して住居の安定確保に努めます。
- 空き家等の適正な管理への対応と利活用の促進に取り組みます。

目標指標

指標の名称	単位	現状値		方 向	めざそう値	
耐震診断及び耐震改修の助成を行った木造住宅の累積件数（5年間の累計）	件	31	H27	↗	40	H31
公営住宅の一定のバリアフリー整備率	%	30	H26	↗	40	H31
住宅支援の補助件数（5年間の累計）	件	3	H26	↗	550	H31
空き家バンク登録住宅の活用件数（5年間の累計）	件	12	H26	↗	50	H31

主な事業

- 住宅の各種支援制度（木造住宅耐震診断士派遣制度・木造住宅耐震改修助成事業）
- 公営住宅整備事業
- 地籍調査事業
- 和田南土地区画整理事業補助
- 定住促進事業補助金
- 民間賃貸住宅建設助成事業
- 公営住宅等ストック総合改善事業
- 都市計画事業
- ハーモニータウン汐彩販売促進事業
- 空き家情報登録制度（空き家バンク）

分野別計画

- 安来市建築物耐震改修促進計画
- 安来市公営住宅等長寿命化計画
- 安来市都市計画マスタープラン



安来スタイル

充実した住宅の各種支援制度により住環境を向上し、市民の定住意識を高めるとともに移住・定住の促進をします。



第3節 公園・緑地の整備

現状と課題

公園や水辺などの保全と整備に努め、環境学習の場としても活用するなど、多くの市民が安全で快適に利用できるよう、美化・保全や施設の整備を図り、水とみどり豊かな、花に包まれた都市空間づくりが必要です。

市内の公園や緑地は、子どもの遊び場やスポーツ・レクリエーションなどの住民交流の場として広く利用されており、災害や緊急時の避難や拠点施設としての役割を担っています。

しかし、遊具等の老朽化から現存する施設の修繕、改修が必要となっています。

取り組みの方向と主な施策

方向
28

新たな公園を整備する

快適



- 大規模公園（中海ふれあい公園（仮称））を整備します。
- 防災公園を整備します。

方向
92

公園緑地の防災機能を充実させる

安心



- 公園緑地を緊急時の防災拠点施設として関係機関と連携した利活用をします。

方向
93

既存の公園緑地を適切に管理する

安心



- 遊具等の施設について定期点検を実施し、老朽化対策や改修を行います。

目標指標

☆印…総合計画アンケート

指標の名称	単位	現状値	方 向	めざそう値
☆公園・スポーツ施設（身近な公園・広場・緑地・運動場など）の満足度	%	21.2	H26	↗

主な事業

- 中海ふれあい公園（仮称）整備事業
- 公園管理事業
- 都市公園等施設改修事業
- 防災公園整備事業

分野別計画

- 安来市緑の基本計画（安来市緑のマスターplan）
- 安来市都市計画マスターplan
- 安来市地域防災計画



中海ふれあい公園（仮称）予定地



安来スタイル

市内には山地や海岸等の自然環境や史跡などを活かした多種多様な公園が所在します。中海に面した本市の玄関口に大規模公園を整備します。



第4節 上・下水道の整備

現状と課題

上水道では、水道普及地域内における飲料水への安心感、信頼感は大きいものがあります。しかし、統合により上水道事業が負担することとなる簡易水道経費の不足分は大きく、事業の安定経営に支障を来たすおそれがあります。

また、施設・基幹管路等の耐震化率の改善をはじめ、老朽化による更新時期を迎える浄・配水施設の耐震化を含めた施設機能の強化へ計画的に取り組み、簡易水道事業における収益性の改善を図る必要があります。

下水道では、下水道料金・負担金の滞納問題や、汚水施設の老朽化や更新時期の集中による負担増、維持管理費の増加、下水道未接続世帯の早期解消、個別処理地域での浄化槽の普及促進が課題となっています。

取り組みの方向と主な施策

方向
29

水質管理を充実・向上させる

快適



- 水質検査計画の見直しを適時行い、水質の安定確保に努めます。

方向
94

漏水事故等を減少させる

安心



- 基幹施設の耐震化を計画的に実施します。
- 経営面に配慮した計画に基づく災害や事故に強く、持続可能な水道施設への転換を推進します。

方向
96

水道事業の効率化など経営を見直す

安心



- 会計制度の見直しによる効率的な経営へ転換します。(簡易水道事業との統合)
- 資産状況の把握と不要資産の処分を行い、資本費を低減します。
- 各種調査を実施し、適正な水道料金体系を検討します。
- 施設統合により維持施設の縮小化を推進します。

安心

方向
97

汚水処理施設を普及し、安定稼働と安定経営を行う



- 下水道事業の安定経営に努めます。
- 下水道施設の長寿命化を推進します。
- 汚水処理施設の稼働率を向上します。
- 下水道の整備を推進します。

目標指標

☆印…総合計画アンケート

指標の名称	単位	現状値		方 向	めざそう値
☆水を大切に使っている人の割合	%	77.0	H26	↗	↗ H31
下水道使用料収納率	%	96.6	H26	↗	97.0 H31
下水道負担金収納率	%	79.9	H26	↗	82.0 H31
下水道接続率	%	85.7	H26	↗	88.0 H31
汚水処理施設普及率	%	85.4	H26	↗	90.0 H31

主な事業

- 上水道事業会計と簡易水道事業会計の統合と効率化に併せ、現行の上水道事業及び簡易水道事業の料金体系を中長期的な視点で見直し、事業会計統合後の経営の安定化
- 水道料金改定事業
- 水道事業運営基盤強化推進事業
- 公共下水道整備事業
- 浄化槽市町村整備推進事業
- 下水道事業公営企業会計への移行
- 水道施設等耐震化事業
- 簡易水道施設の統合による施設の削減
- 農業集落排水施設機能強化事業
- 浄化槽設置整備事業

分野別計画

- 簡易水道事業統合計画
- 安来市水道ビジョン（中長期経営計画）
- 安来市生活排水処理施設整備基本計画



安来スタイル

本市が誇る美味しい・安全・安心・良質な水道水を持続的に提供できるよう災害や事故に強い水道施設に転換を図ります。





第5節 情報化社会の構築

現状と課題

情報通信技術（ICT）の急速な進展や、インターネットに加え携帯電話網等によるモバイルICT利用の増加などによって、情報通信基盤は、経済活動や市民生活に欠かせないものとなっています。

ICT及び、市内全域に整備した光ファイバによる高速情報通信網の利活用を各分野に広げて、情報化のさらなる展開を図ることで、地域課題への対応や住民サービスの向上、地域の活性化を進めることができます。

また、携帯電話不感地域の存在や、情報機器の取り扱いができない高齢者、障がい者等の情報弱者への対策が課題となります。

取り組みの方向と主な施策

方向
30

ICTの利活用による地域情報化を推進する

快適



- 行政手続の電子申請化を推進します。
- 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）の円滑な導入を図ります。
- 視覚的情報提供システムの構築を図ります。
- 高速情報通信網の利活用を推進します。
- 携帯電話不感地域の解消を図ります。

目標指標

指標の名称	単位	現状値		方 向	めざそう値	
電子申請システム手続き項目数	項目	16	H26	↗	50	H31
告知放送普及率	%	83.5	H26	↗	84.9	H31

主な事業

- 総合行政システム構築事業
- OA用パソコン購入事業
- インターネットサーバ更新事業
- 地域インターネット運用事業
- 番号制度導入に伴うシステム改修事業
- 地域情報化推進事業
- 携帯電話不感地域対策事業

- 戸籍システムリプレイス
- 戸籍住基連携システム導入事業
- 証明書コンビニ交付事業

分野別計画

- 安来市情報化計画

安来市の高速情報通信網（イメージ図）



【提供中のサービス】

- ・利用無料のサービス
行政告知放送
- ・利用者が有料で契約して利用するサービス
ケーブルテレビ放送、高速インターネットサービスなど
※市の情報通信網を、山陰ケーブルビジョン株式会社に
貸し出して提供しているサービスです。



安来スタイル

市内全域に整備した光ファイバによる高速情報通信網の利活用を各分野に広げて、地域課題への対応や住民サービスの向上、地域の活性化を進めます。